

## ① 平成26年度夏季水温から予想される遡上時期について

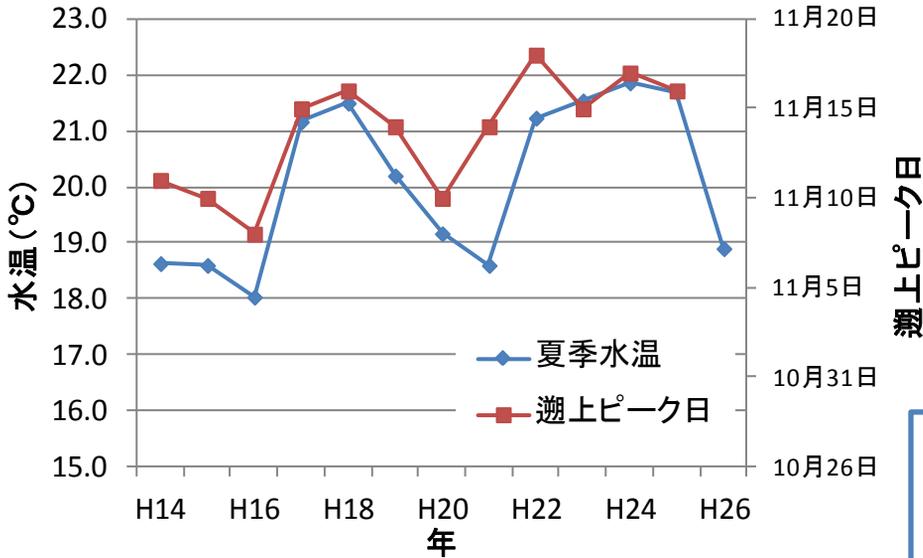


図1 夏季海面水温<sup>1)</sup>とシシャモの鵜川への遡上ピーク日<sup>2)</sup>の経年変化

- 1) 室蘭8月中旬～9月上旬平均, 栽培公社データ
- 2) さけます内水面水産試験場事業成績書

これまでの調査結果から、鵜川へのシシャモの遡上は、夏季の水温が高いほど、遅くなる傾向が見られます(図1)。

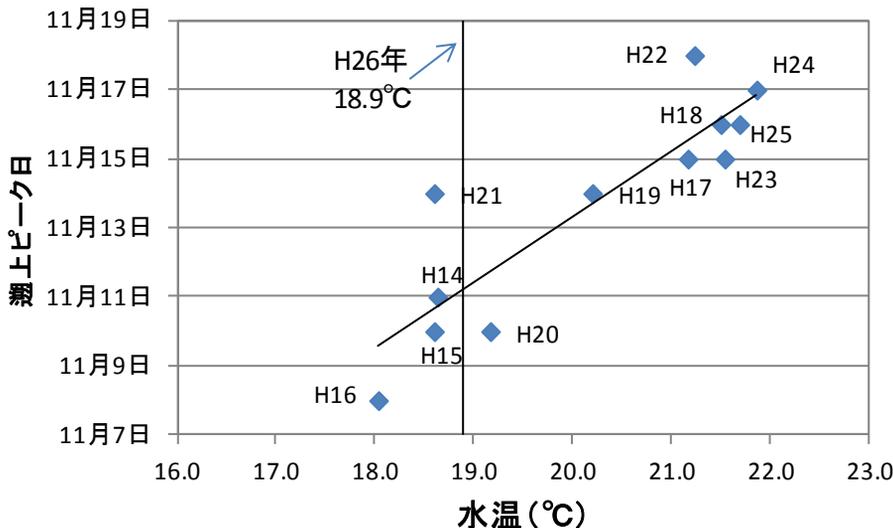


図2 夏季海面水温<sup>1)</sup>とシシャモの鵜川への遡上ピーク日<sup>2)</sup>との関係

- 1) 室蘭8月中旬～9月上旬平均, 栽培公社データ
- 2) さけます内水面水産試験場事業成績書

平成26年の夏季平均水温は18.9°Cであったことから、遡上のピークは昨年より少し早い11月上旬から中旬になると予想されます。

## ② シシャモの成熟の進行について(10/24現在)

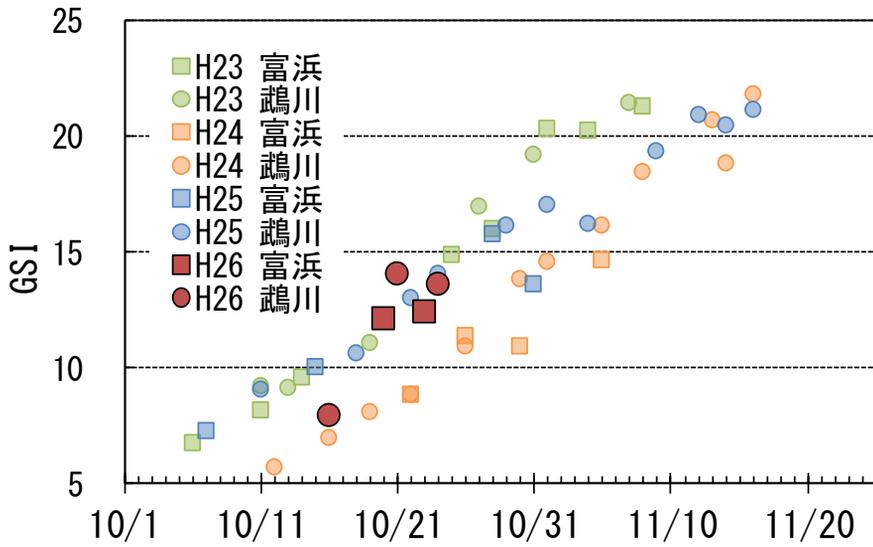


図3 シシャモ雌の生殖腺重量指数 (GSI) の変化

雌の成熟度の指標である**GSI値は、H23年やH25年並みに推移しています(図2)**。H25年のウライ調査によると、**鵜川への遡上は開始日が11月4日、遡上盛期が11月16日頃でした。**

## ③ シシャモの体長組成について

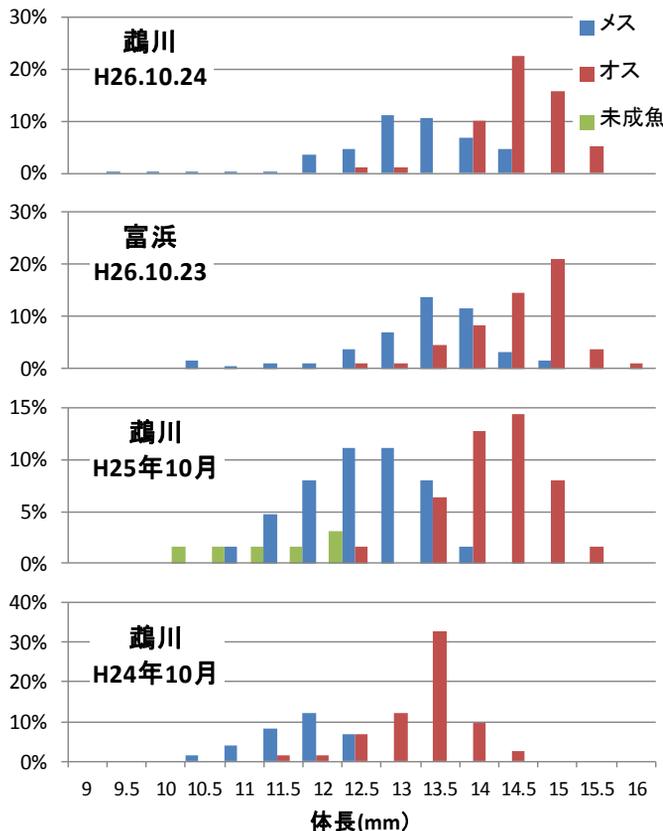


図4 シシャモ漁獲物の体長組成 (H25,24は無選別標本)

### 成熟度によるシシャモの河川への遡上予測について

道南太平洋海域のシシャモは産卵期になると、雌の卵巣の生殖腺重量指数 ( $GSI = \frac{\text{卵巣重量}}{\text{体重}} \times 100$ ) が25、すなわち卵巣重量が体重の1/4に達したところに河川への遡上を開始することが知られています。そこで、GSIが25に達する日を推定することで遡上日を予測しています。栽培水産試験場では、鵜川沖、日高富浜沖で漁獲されたシシャモ雌の成熟度調査を実施しています。

漁獲物の体長組成は、昨年、一昨年同時期より大きめで、鵜川では雌で13cm、雄で14.5cmにモードが見られます。富浜では雌で13.5cm、雄で15cmにモードが見られます。また、例年雌は1歳で成熟するのですが、今年度は体長9~10cm台の当歳魚にも成熟した個体が見られました。

\*なお、今年度も11月始めに、成熟度調査によりシシャモの河川への遡上を予測し、ご報告する予定です。